

安芸中・高校

同窓会だより

第35号
同窓会事務局発行
H29. 2. 26



ご挨拶

同窓会会長 半田 久米夫

二〇一七年。新しい年がスタートしました。同窓生の皆様方にはご健勝でお過ごしのことと存じます。この一年も安芸中・高校同窓会の活動、運営に一層のご理解とご協力をお願いいたく思います。

ご承知のように、今年は変化が激しく激動の年ともいわれています。海外では保護主義の台頭や地政学的なリスク。アメリカ・トランプ大統領の言動にも目を離せません。国内では本格化する少子高齢化や世帯数の減少による経済や財政への不安感もめぐえませんが、なかでも、地方創生が声高に叫ばれながら地方は一向に浮上しないのが現状です。

少子化といえば高知県も顕著で、生徒数の減少がひどく学校運営も深刻です。

私たちの母校・安芸高校を例にとりますと、昨年度の生徒はわずか三〇〇人、一年の定員一六〇人に対し八十三人の入学。したがって、県教委は二十九年入学試験から一学年の定員を二二〇人にまで減らしています。昔の安芸高校を知っている人からすれば驚くばかりです。

こうした状況下で、母校は数年前から正本校長を筆頭に文武両道の校風づくりを教

育方針の柱として学校の質の充実と存在感を高めるのに懸命です。しかし、何しろ芸西村以東、つまり旧安芸郡内の中学三年生の総数が約三〇〇人。ここに室戸、中芸、桜ヶ丘、安芸を含めて四校の県立高校があります。加えて、高知市内の高校に進学する生徒も少なからずいることを考えれば、定員を確保するのも大変なことです。

近い将来、高校の統合・再編が大きな行政課題になるでしょう。水面下ではすでに検討が進んでいるかもしれませんが、私たちが無関心ではいられません。妙案は見つからないものの、東部の「拠点高・安芸」を存続するため物心両面から支援・協力する必要性を痛感している次第です。

ところで同窓会の活動ですが、毎年のことながら三月の中・高校卒業式、四月の入学式への役員の出席、文化祭など学校行事への代表者の参加など、母校とのかかわりを強め、教職員や在校生との交流を図っています。

同窓会本部、各支部の動向では、七月初旬の関西支部総会に始まり、七月末には本部総会、九月は東京支部、二月には東海支部総会が開かれ、多くの同窓生が集まって

和やかに旧交を温めました。七月の本部総会には記念講演を実施、昭和二十九年卒業で土居出身の井上忠雄氏（NPO法人NBCR対策推進機構理事長・工学博士）が「現代の危機管理―人為的災害を中心として」と題して、テロの現状や災害に対する心構え、対応策などを詳しく話されました。

時代に見合った有意義な講演で好評を博し、講演後は世代を超えて歓談しました。今年も各支部で総会日程が立てられていますが、それぞれの地域で多くの方々が足を運んでくれますことを願っております。同窓会といえば、この他にも学年別のクラス

平成二十八年年度 同窓会総会開催される

平成二十八年七月二十三日（土）安芸市ホテルタマイにおいて、本年度同窓会本部総会が開催されました。



安芸中高同窓会総会風景

会も各地で開かれていくと聞きますが、大変喜ばしいことだと思います。

こうした恒例の催しに加え、準備しなければならぬのが間近に迫った開校一二〇周年記念行事です。これまで節目の記念日に発行してきた卒業生名簿の整理は勿論、メイン行事をどうするか、準備委員会を立ち上げて検討する段取りを進めています。皆様方から提案があれば、事務局へご連絡いただければ幸いです。

終わりに、安芸中・高校の益々の発展と同窓生の皆様のご活躍・ご健勝を祈念し、ご挨拶いたします。

総会に先立ち、今回の記念講演には工学博士、元陸自化学学校長 井上忠雄氏（第五回 昭和二十九年卒）をお招きし、「現代の危機管理―人為的災害を中心として」と題してお話をお聞きしました。

化学分野の専門家としてジュネーブ軍縮委員会日本代表団の一員となられた経験も踏まえて、我が国を取り巻く国際情勢（極東地域）並びに国土防衛の現状、NBCR（核、生物、化学、放射能の各災害）の驚異に対する防護対策の実態、海外資本による国土買収に対する我が国の姿勢と国土防衛について等、私達の問いかけにもお答えいただきながら現代の危機管理についてご講演いただきました。

総会では、半田会長による議事進行のもと、西澤邦輔顧問をはじめ、東京同窓会の柏戸正英会長、東海支部同窓会の有澤道雄顧問、関西同窓会の水上忠義会長にご挨拶をいただき、平成二十七年年度会務報告、經常会計並びに特別会計決算報告が事務局か

ら行われた後、平成二十八年年度事業計画、経常会計予算並びに特別会計予算等の審議が行われた承されました。

懇親の席では、横山幾夫安芸市長にご挨拶を頂戴し、和やかな宴を満喫する中、旧制安芸中、安芸高等女学校、安芸高校歌を参加者一同合唱し、盛会の内に本年度総会を終了しました。

おわりに、記念講演講師として事務局からの依頼を快諾いただき、母校安芸高に深い愛情と感謝の心をもって講演していただいた井上忠雄氏に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

総会日程

日時 平成二十八年七月二十三日(土) 午後二時三十分～

場所 安芸市 ホテルタマイ

講演 演題「現代の危機管理」

「人的災害を中心として」

講師 井上 忠雄氏

(第五回 昭和二十九年卒)

総会

1 開会挨拶

2 会長挨拶

3 学校長挨拶

4 各支部役員挨拶

5 議案

第一号議案 平成27年度会務報告の件

第二号議案 平成27年度経常会計並びに特別会計決算報告の件

第三号議案 監査報告の件

第四号議案 平成28年度事業計画(案)の件

第五号議案 平成28年度経常会計予算(案)並びに特別会計予算(案)の件

第六号議案 その他

6 閉会挨拶

同窓会総会記念講演

演題 「現代の危機管理」

「主として人為的災害を中心として」



講師 NPO法人NBCR対策推進機構理事長

(元陸上自衛隊化学学校長 陸将補 工学博士)

井上 忠雄氏

(高校第五期生・昭和二十九年卒業)

〈講演概要〉

はじめにー現代の危機管理とは

1 東アジアの国際情勢と自衛隊の対応

2 外国人による国土買占め問題ー政治の問題

3 テロの脅威とCBRNE災害対策

4 地方自治体等の現代危機管理ー自然災害対策ー地震等への対応

現代は世界情勢、自然災害等において、非常に不安定で予想外の出来事が起こる状況下にあることから、以上四点を中心にお話したい。

はじめに

現代の危機管理とはどういうことか。従来の危機管理とは、米ソ冷戦時代に、アメリカとソ連が場合によれば核戦争になるかもしれないという一触即発の危機にあり、そのような状況を何とかコントロールしていくこうとする動きが起こったのが始まりである。しかし、最近では危機管理の概念が拡大し、緊急事態への対処や発生の防止といった一般的な概念に加え、「社会・組織の現状や現在の価値に対する災害・批判などのリスクを最小化し、排除する」という考え方が見られる。そして、そのような考え方を「市民生活の安心と安全の確保及び

行政の信頼性の確保」と定義づけて対処している自治体もある。

現代の危機管理とは

現代の危機管理とは、従来の危機に加え、

テロ、大量破壊兵器等の非対象型の脅威の危機、広義においては、大災害、破壊活動、凶悪犯罪、大事故等などの危機に対処していくことである。今日は危機管理のシステムと方法論が重要視されている。特に、バランスのとれた、無理のない、合理的かつ現実的な「危機管理」が重視される時代である。また、危機の多様化にいかに対応するか、組織的危機管理システムをいかに構築するか、有事の際にいかにして被害を局限するかが問われている。これまで日本は予防・防止に最も力を注いできたが、福島原発事故の例からも分かるように、実際に危機が起こった際にどのようにして被害を最小化し対応するかが、予防・防止と同様に重要である。

こうした時代の要請に伴い、武力攻撃事態や緊急対処事態が起こった場合に国民を避難、誘導し安全を確保するための指針となる国民保護法(国民の保護に関する基本方針ー平成十六年六月成立)が、制定された。このような危機管理が必要になった背景には、近年、地域紛争の多発や大量破壊

兵器の拡散、非国家主体のテロ組織等の台頭等、国際情勢において新たな危機が発生したことが要因として考えられる。

最近の国際情勢の特異点について触れると、ロシアによるバルカンの併合、ウクライナ紛争、核戦力をちらつかせるなどの力の外交、また、中国は軍事力の異常な増強や南シナ海の軍事基地化、尖閣諸島の領有権問題、東シナ海の独自開発等、世界のルールを無視したような行動で台頭している。北朝鮮はNBC戦力の増強、核武装化が問題となっており、一方、中東においてはパレスチナとイスラエルの対立、ISとの戦いなどが挙げられ、非常に不安定な状況が続いている。

1 東アジアの国際情勢と自衛隊の対応

東アジアにおいては、中国、北朝鮮の脅威が顕在化している。

特に、中国の軍事力の増強、軍事国家としての成長は、全世界にとって大きな脅威となりつつある。中国共産党中央軍事委員会の内部に十五機関、その下に陸軍、海軍、空軍、ロケット軍、戦略支援部隊、五大戦区が置かれている。中でも、空軍の実質的な軍事力は、日本、韓国、在日、在韓米軍を合わせたものに匹敵し、アジアの空軍で最強であり、その急激な近代化はアジアの軍拡を誘発しているといわれている。

最近の軍事情勢を見ると、二〇一六年の国防予算は日本の三倍以上の十六兆六千億円であり、毎年七〜一〇パーセントの増強を図っている。特に、最近では南シナ海の拠点化を加速させ、領有権問題で積極的な姿勢を強めるなど、緊張が高まっている。パラセル諸島、スプラトリー諸島に飛行場を建設し軍事基地化する中国に対抗し、アメリカは空母三隻を派遣し牽制したが、中国

は初の国産空母を建造するなど五か年計画で海洋戦略を制定し、海洋強国を建設しようとしている。このような中国の軍事戦略の思想的背景には、「中華思想—中国が中心であり他国は属国である」という考えが見られる。それに対して日米・韓等はいかに中国を封じ込めていくか、同時にどう協調していくかが課題である。これまでの日本の防衛構想は日米安保を基本としており、アメリカなしでは国を守れないと考える一方で、今後はアメリカ以外の力を借りなければならぬという考え方も生じている。

また、北朝鮮の軍事力も脅威である。金日成の時代から四大軍事戦略として、①全人民の武装化、②全軍の幹部化、③全軍の現代化、④国土の要塞化の四点を根底に強化が行われている。中でも、懸念されるのは核兵器と核弾道ミサイル開発の問題である。これまでに四度の核実験を実施しており、アメリカの専門機関は、北朝鮮が二〇一六年までに最大で四十八個の核兵器を製造することが可能で、今後さらに開発能力が高まることも予測しており、日本の安全保障への影響は重大なものとなることを警告している。

また、中国の日本に対する軍事的圧力も見逃すことができない問題である。中国による領空侵犯に備えた日本の緊急発進回数 は全体の六〇パーセントを超え、他国と比較しても過去と比較しても最多となっている。中国は日本周辺の海域において、海軍艦艇による火器管制レーダーの照射、航空機等の海上自衛隊護衛艦・自衛隊機への接近、尖閣諸島周辺空域における領空侵犯、ガスタ田開発と称した海上プラットホーム建設等を行い、自分たちの領土・領海であることを誇示し、日本の脅威となっている。こうした状況に対して、日本の自衛隊は

どのような対応をしているか。自衛隊の主な任務は防衛出動で、次に国民保護等派遣や治安出動、災害派遣等、さらには周辺事態に基づく地域支援、国際緊急援助等、国際平和協力業務等さまざまな任務が与えられている。外敵に対する防衛に関して、防衛省は陸海空の自衛隊だけでは対応できないとし、それらを統合した幕僚幹部を設置し、総合的な力で他国からの脅威に備えるべく活動している。

また、陸海空自衛隊による周辺海空域の警戒監視が行われており、領空侵犯が起ることがあれば、直ちに行動できるような態勢をとっている。各国は領域上の空間に敵の航空機が来た場合、排除する権利を持っており、通常は外国機が日本国内を通過する場合や日本国内から出発する場合には日本の許可が必要であるが、これを無視した場合は領空侵犯となる。もし敵が近づいた時には、航空自衛隊はレーダーサイトで探知、識別し、発進指令の上、行動を確認・監視しながら領空に入らせぬよう誘導するという措置を行っている。

北朝鮮からの弾道ミサイルへの対応としては、レーダーサイトで探知し、航空機による監視をしながら、イージス艦に情報を送りPAC-3で撃ち落とすという措置をとっている。最近ではアメリカから情報を受領し、データを共有することで、日米共同で弾道ミサイルに対応している。また、近年は中国が尖閣諸島周辺への領海侵入を常態化させているため、与那国島駐屯部隊や、宮古島駐屯地への地対空ミサイル部隊や地対艦ミサイル部隊を新設し、尖閣諸島の守りを強化している。

このような日本周辺における予断が許されない状況に対して我々はどうのように対応すべきか。国の守りは最低限自国で行いな

がら他国と共同しながら対応することで、とにかく戦争に巻き込まれないようにするための態勢を作っていく必要がある。まさに一国では守れない時代が到来している。

また、軍事的な対応だけではなく、総合的な対応が必要とされている。例えば、中国に対しては軍事的、北朝鮮に対しては政治的、ロシアに対しては文化的、米国に対しては経済的といった信頼醸成措置を構築していく。また、戦争防止協定を構築し、戦争を起こさない体制を作ること、東アジア等地域安全保障対策を構築し、北朝鮮に核を使わせない体制を作ること、衰退した国連の役割を強化していくことが必要である。東アジアをみんなの力で、場合によっては欧州の力を借りて、地球全体の安全と平和を保障していくという対策が必要とされている。

2 外国人による国土買い占め問題—政治の問題

現在、外国人による日本領土の買い占め問題が、国の安全にとって非常に重要な問題となっている。特に、対馬を席巻する韓国資本の日本国土買い占め行動が問題視されている。(※『対馬が危ない』宮本雅史著参照)しかしながら、日本における外国人による土地取得に関する実質的な規制は機能していない状態であり、この問題に対する日本の対策は十分とはいえない。国防上重要な土地について外国人の土地取得を規定した「外国人土地法」(大正十四年法律第四十二号)があるものの、関係勅令の廃止により機能していない状態である。また、WTO協定のうち「サービスの貿易に関する一般協定」において、日本は土地の売買に関する保留事項を定めておらず、外国人のみを対象とする規制はWTO協定に

抵触するとされている。そこで、近年の外国人による山林の売買の増加に伴い、日本人・外国人を問わず全ての国内取引を対象とした森林法の改正や地方自治体による条例の制定等が行われている。しかし、外国人土地法に基づく政令を定めて規制することには、政治的な課題が山積しており、短期間での解決は見込めないという現状にある。

3 テロの脅威とCBRNE災害対策—オリンピックに備えて

二十一世紀初頭における大きな世界的問題の一つに、非国家主体のテロ組織の台頭が挙げられる。最近のテロの特徴は、単に一国家の問題ではなく、その発生回数、使用する手段、目指す目標において、以前とは全く異なる脅威となっている。彼らは公平な手段ではなく、奇襲的な破壊活動が常套手段であり、①平時の市民社会で行われる、②大量破壊兵器または高性能爆薬の使用、③一般市民が攻撃対象である、④より破壊的・無差別・大量殺戮型である、⑤小規模な組織や個人による攻撃であることが特徴である。

さらに、彼らには国境が存在せず、国内外どこからでも攻撃可能であることや、母国を持たないことが多いため、探知や抑止、報復が極めて困難である。また、インターネットやGPSなどの普及により、あらゆる情報が容易に入手できるようになったことで、世界各地の異種分子と交信し協調的な攻撃が可能になった。また、婦女子を使った自爆テロも、最近のテロの特徴として挙げられる。

オリンピックは政治的主張を世界にアピールできる場であること、また、観衆が多いため、驚愕、恐怖感を与えることを目的と

したテロリストにとって効果的な場であるといえる。例えば、一九七二年のミュンヘンオリンピックでは、パレスチナゲリラがイスラエル選手団の宿舎に侵入し、選手を人質にイスラエルに収監中の仲間の開放を要求し、最後は銃撃戦となり人質全員が犠牲となった。その後、ソウルやアトランタ、ロンドン、ソチ大会でも爆破やサイバー攻撃等のテロが起こっていることから、オリンピックの際には、大会運営費の一〇パーセント以上が警備費に必要ではないかといわれている。

世界で初めて起きた化学テロは、日本で起こったオウム真理教団による松本サリン事件や東京地下鉄サリン事件で、その他、二十一世紀に入ってから起こった化学テロとして、ワシントンで起こった生物テロの炭疽菌郵送事件やイラクで起こった塩素による化学テロ、現在起こっている化学テロのほとんどである高性能爆薬等を使用する爆弾テロなどが挙げられる。CBRNE兵器は入手や製造が比較的容易で大量の犠牲者が見込めるため、テロの手段として関心が高まっている。

では、日本はテロに対してどのような対策をしているか。現在、政府は内閣危機管理監を中心として国際テロ対策推進本部を設置し、テロの未然防止に関する行動計画、テロを起こさせない態勢の構築を柱とした具体的対策に乗り出している。事案発生への対処としては、未然防止と被害の拡大軽減措置、災害への応急対処、本格対処、被害の復旧が重要である。(未然防止と被害の軽減措置においては、大規模集客施設と連携し、緊急連絡体制の整備や危機情報の共有、医療機関との連携を図るなど、危機管理体制の強化が必要である。対処マニュアルの作成、業務の分散化、組織の役割分

担、発生現場での連携強化、所管の情報伝達手段の確保、装備・資材の備蓄、訓練の実施、地域住民への啓発が必要である。また、関係機関との連絡調整体制の構築や、教育・訓練の実施が必要である。) 災害への応急対処で最も重要なのは初動対処である。化学テロを例にとると、まず災害発生を通報し、国民にしっかり知らせる。そして、情報収集、現地の情報確認、現地への職員派遣、原因の把握・検知、被害者の救援・救護、二次汚染の発生防止措置、除染といった一連の措置を行い、被害の軽減を図ることが重要である。

また、災害発生現場では、自分の身は自分で守ることが大切である。家庭や事務所での非常袋の常備、緊急連絡網の整備と連絡手段の確保、緊急事態に遭遇した場合の心得をしっかりと持ち、事前に準備しておくことが必要である。

4 地方自治体等の現代危機管理―自然災害対策―地震等への対応

いかに自然災害に備えるか。「自助(七割)、互助(二割)、公助(一割)」と考え、自らの命は自らで守る、自分でできることは自分でやるということを念頭に置いて危機に備える。また、東日本大震災の教訓として「想定外に備える」ことが重要である。自ら災害に対応する能力を身に着けること、地域の力を強化することも不可欠である。

市町村においては、武力攻撃、テロ行為等への対策と同様、未然防止対策が重要である。地方自治体における危機管理の例として、自然災害、事故等、感染症、武力行使、大規模テロ等がある。平素から危機管理体制ができていないか、実際に問題が発生した時に即座に対応できるのか、消防、警察、地方自治体の連携が重要である。

地震対策には、市町村、都道府県、自衛隊(国)間の連携が重要である。しかし、地方自治体を過信し、頼りすぎてはいけない。自助・互助努力、つまり公的機関が駆け付けるまでの初動対処能力を身につけることが求められている。また、地域住民も自己防護の知識を身につけ、簡単な防護道具を常時携行することが求められる。

最後に、危機管理の要諦として、①楽観的・希望的観測を排し、最悪の事態に備えること、②直ちに行政等による指揮・命令システムを整備すること、③何から何を守るか、対象を明らかにする(事態の把握、検知・警報)、④先例に惑わされず、なすべきことを早期に決定する、⑤物事に万全はないことを自覚し、常に見直すという態度が必要である。特に、「自治体を過信しない」ことが最重要であり、自治体に頼るのではなく個人の力が必要である。

安芸高校歌合唱 ～伝統を繋ぐ～



安芸高校歌合唱・関西



旧中校歌合唱・本部

高女校歌合唱・本部



安芸高校歌合唱・東京

東京

これからの時代は、官民一体となって助け合うことが被害を最小限に抑え、より多くの命を救うことにつながる。

社会に貢献する同窓生の活躍

平成28年度 安芸市民賞受賞

安芸市の市政・産業・教育文化・公共福祉などで功績の顕著な人物や、市民の模範となる行為があった人物を表彰する平成28年度「安芸市民賞」に本校同窓生 南熙氏が選ばれました。

長年にわたる教育文化振興と市政発展へのご貢献に対する同賞受賞を、心からお祝い申し上げます。

※ ※ ※



みなみ ひろし
南 熙 氏

昭和24年3月卒
1期生・旧制第44回同期生

南氏は陶芸の里委員長として内原野陶芸館の開設に尽力し、平成11年の開設時から現在まで、館長として陶芸教室での指導や、手づくり登り窯フェスタの開催に尽力されています。

また、安芸市文化財保護審議委員、土居廓中伝統的建造物群保存対策調査委員を務めるなど、文化財の保護にも寄与されています。また、安芸公民館運営委員長、安芸市文化協会会長などを務め、教育文化の振興や市政発展に貢献されています。

※ 南氏は平成25年度に、文化振興や環境保全などに功績があった人に贈られる「高知県文化環境功労者表彰」を受賞されています。(本誌第32号掲載)

平成28年度同窓会理事

	常任理事	役職	氏名	卒業年
1	○	顧問	西村 俊彦	旧中 37 (S.16)
2	○	〃	西澤 邦輔	旧中 42 (S.20)
3	○	会長	半田久米夫	高普 7 (S.29)
4	○	副会長	長澤 千加	高普 7 (S.31)
5	○	〃	曾我 章	高商 10 (S.41)

	常任理事	役職	氏名	卒業年
6	○	副会長	小松 孝	高普 17 (S.41)
7	○	〃	樋口 孝子	高普 21 (S.45)
8	○	〃	門脇 茂利	高普 24 (S.48)
9	○	監事	谷口 美洋	高普 14 (S.38)
10	○	〃	佐々木 愛	高定 19 (S.43)

常任理事	役職	氏名	卒業年	常任理事	役職	氏名	卒業年	常任理事	役職	氏名	卒業年			
11	○	理事(旧女)	佐藤 満子	旧女 23 (s.20)	38	理事(高校)	浜川 和彦	高普 13 (s.37)	65	理事(高校)	前田 信幸	高普 26 (s.50)		
12	〃	〃	北村霞代子	旧女 24 (s.22)	39	〃	手島 敬子	高普 13 (s.37)	66	〃	島津 和弘	高普 27 (s.51)		
13	〃	理事(高校)	有澤 駒雄	高普 2 (s.26)	40	〃	有光 健夫	高普 14 (s.38)	67	〃	畠中 龍雄	高普 28 (s.52)		
14	〃	〃	仙頭 一良	高普 2 (s.26)	41	〃	阿部望東男	高商 7 (s.38)	68	〃	門田 禎子	高普 28 (s.52)		
15	〃	〃	池田 文七	高普 3 (s.27)	42	〃	白川 昌弘	高普 15 (s.39)	69	〃	松本 健	高普 29 (s.53)		
16	〃	〃	富田 哲郎	高普 3 (s.27)	43	〃	曾我 幹雄	高普 15 (s.39)	70	〃	横田 毅	高普 30 (s.54)		
17	○	〃	植田 康夫	高普 3 (s.27)	44	○	〃	広松紘三郎	高普 15 (s.39)	71	〃	畑中 英子	高普 30 (s.54)	
18	〃	〃	高橋 保雄	高普 4 (s.28)	45	〃	〃	福留史満子	高普 16 (s.40)	72	〃	〃	中井 秀次	高普 30 (s.54)
19	〃	〃	有沢 清信	高普 6 (s.30)	46	〃	〃	西岡 真喜	高普 17 (s.41)	73	〃	〃	安養寺 仁	高普 31 (s.55)
20	〃	〃	織田庄之佑	高普 6 (s.30)	47	〃	〃	小原 重松	高普 18 (s.42)	74	〃	〃	小松 司	高商 24 (s.55)
21	○	〃	仙頭 一彦	高普 6 (s.30)	48	〃	〃	小松むつ子	高普 18 (s.42)	75	〃	〃	藤田 剛志	高商 24 (s.55)
22	〃	〃	井津 哲彦	高普 6 (s.30)	49	〃	〃	有沢精一郎	高商 11 (s.42)	76	〃	〃	柴原 享一	高普 32 (s.56)
23	○	〃	井上 正道	高普 7 (s.31)	50	○	〃	浜川 洋	高普 19 (s.43)	77	〃	〃	中島登喜雄	高普 32 (s.56)
24	〃	〃	杉本 圭弘	高普 7 (s.31)	51	〃	〃	東 博幸	高普 19 (s.43)	78	〃	〃	小原 昌信	高商 26 (s.57)
25	〃	〃	富田 義輝	高普 7 (s.31)	52	○	〃	西岡 良介	高定 10 (s.44)	79	〃	〃	正木 敏政	高普 33 (s.57)
26	〃	〃	仙頭 健子	高普 7 (s.31)	53	○	〃	森尾 傳	高普 20 (s.44)	80	〃	〃	中山 良幸	高商 26 (s.57)
27	〃	〃	五百蔵 溜	高普 8 (s.32)	54	〃	〃	須賀 和男	高普 20 (s.44)	81	〃	〃	岡村 明彦	高普 33 (s.57)
28	〃	〃	小松 秋秀	高普 8 (s.32)	55	○	〃	大井 範男	高普 20 (s.44)	82	〃	〃	川口多喜美	高普 33 (s.57)
29	〃	〃	筒井 泉	高商 1 (s.32)	56	〃	〃	山崎 豊	高商 13 (s.44)	83	〃	〃	竹村 修文	高普 35 (s.59)
30	〃	〃	胎中 克彦	高商 2 (s.33)	57	〃	〃	吉岡 成	高商 13 (s.44)	84	〃	〃	清岡 直樹	高普 35 (s.59)
31	〃	〃	藤島 善之	高普 10 (s.34)	58	〃	〃	石建 守	高普 21 (s.45)	85	〃	〃	川竹三千代	高普 37 (s.61)
32	○	〃	小原 章	高普 10 (s.34)	59	〃	〃	富田 毅	高普 22 (s.46)	86	〃	〃	大坪 浩久	高普 38 (s.62)
33	〃	〃	足達 雅彦	高普 11 (s.35)	60	〃	〃	佐々木範明	高普 24 (s.48)	87	〃	〃	西岡 智子	高普 39 (s.63)
34	〃	〃	井上 勝二	高普 12 (s.36)	61	〃	〃	佐藤 章	高普 24 (s.48)	88	〃	〃	清本 祥一	高普 39 (s.63)
35	〃	〃	長野 和賀	高普 12 (s.36)	62	〃	〃	萩野 淑子	高商 24 (s.48)	89	〃	〃	山崎 美和	高普 41 (h. 2)
36	〃	〃	一圓 祥子	高被 5 (s.36)	63	〃	〃	中川 敬三	高商 18 (s.49)	90	〃	〃	岡村 佳子	高普 43 (h. 4)
37	〃	〃	小松 節	高被 5 (s.36)	64	〃	〃	戸田 浩	高普 26 (s.50)	91	〃	〃	高橋まどか	高普 46 (h. 7)

各支部との交流

◆同窓会本部総会
 平成二十八年七月二十三日(土)
 会場 ホテルタマイ(安芸市)

◆関西同窓会総会
 平成二十八年七月二日(土)
 会場 大成閣(大阪市中央区東心斎橋)

◆東京同窓会総会
 平成二十八年九月二十四日(土)
 会場 アルカディア市ヶ谷
 (東京都千代田区九段北)

◆東海支部同窓会総会
 平成二十九年二月五日(日)
 会場 アイリス愛知
 (名古屋市中区丸の内)

本年度も本部、各支部同窓会総会をとおして、たくさんの同窓の皆様との交流が行われました。

どの支部も総会後の懇親会では、旧制安芸中学、安芸高等女学校、安芸高校歌を合唱し、旧交を温めました。全国各地で社会に貢献される同窓の皆様は今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

来年度は、隔年で行われる高知支部の同窓会総会も加わり、全国五カ所での同窓の集いが予定されています。たくさんの皆様のご参集を期待しています。

東京同窓会総会



関西同窓会総会



東海支部同窓会総会



同窓会本部総会



平成28年度 各支部代表

東京同窓会長	柏戸 正英	高普2(S26)	〒260-0854 千葉県千葉市中央区長洲2-21-16
関西同窓会長	水上 忠義	高普2(S26)	〒638-0811 奈良県吉野郡大淀町大字土田507-320
東海支部長	竹内 直彦	高普9(S33)	〒507-0826 岐阜県多治見市脇之島町6-67-14
高知支部長	吉岡 成	商高13(S44)	〒781-0015 高知市薊野西町町3-20-15

平成28年度 スポーツ・文化部活動成績一覽 (県大会以上抜粋)

《陸上部》

〈高校〉
 ・第13回高知陸上競技カーニバル(4/16~17)
【男子】
 100m 11秒51 第3位 中島濤哉(4-4)
 200m 22秒82 第3位 中島濤哉(4-4)
【女子】
 スウェーデンリレー 2分29秒94 第2位
 森本 桐(5-4) 徳永琴音(5-3)
 窪田萌花(6-1) 小松潤奈(6-4)
 ・第70回高知県陸上競技選手権大会(5/3-4)
【男子】
 100m 11秒27 第3位 中島濤哉(4-4)
 200m 21秒72 優勝 藤堂誉志(6-1)
 400m 49秒82 優勝 藤堂誉志(6-1)
 4×100mリレー 44秒16 第3位
 坂田光希(6-4) 中島濤哉(4-4)
 伊吹翔太郎(5-1) 藤堂誉志(6-1)
 ・第69回高知県高等学校総合体育大会陸上競技の部(5/21~23)
【男子】
 100m 10秒88 第2位 藤堂誉志(6-1)
 11秒10 第3位 中島濤哉(4-4)
 200m 22秒11 優勝 藤堂誉志(6-1)
 400m 48秒57 優勝 藤堂誉志(6-1)
 4×400mR 3分24秒54 第3位
 坂田光希(6-4) 中島濤哉(4-4)
 伊吹翔太郎(5-1) 藤堂誉志(6-1)
【女子】
 200m 26秒88 第4位 徳永琴音(5-3)
 4×100mリレー 50秒60 第5位
 窪田萌花(6-1) 徳永琴音(5-3)
 小松潤奈(6-4) 小松三紗季(5-4)
 以上四国大会出場
 ・秩父宮賜杯第69回全国高等学校陸上競技対校選手権大会四国地区予選会 兼 第69回四国高等学校陸上競技対校選手権大会(6/18~20)
【男子】
 200m 21秒96 第2位 藤堂誉志(6-1)
 IH出場決定
 400m 47秒76 優勝 藤堂誉志(6-1)
 IH出場決定
 高知県高校新記録・大会新記録
 ・第69回四国高等学校陸上競技対校選手権大会(6/18~20)
【男子】
 100m 10秒96 第6位 藤堂誉志(6-1)
 全国IH出場
 200m 21秒96 第2位 藤堂誉志(6-1)
 全国IH出場
 400m 47秒76 優勝 藤堂誉志(6-1)
 全国IH出場・大会新記録・高知県高校新記録
 4×400mリレー 3分24秒68 落選
 坂田光希(6-4)・中島濤哉(4-4)
 伊吹翔太郎(5-1)・藤堂誉志(6-1)
 ・第71回国民体育大会高知県選手権大会(7/2-3)
【男子】
 少年男子A100m 11秒02 第2位 藤堂誉志(6-1)
 少年男子A400m 48秒40 優勝
 少年男子B100m 11秒19 優勝 中島濤哉(4-4)
 少年男子B走幅跳 6m76 優勝
 ・第69回全国高等学校対校陸上競技選手権大会(7/29~8/2)
【男子】
 200m 21秒57 予選通過
 高知県高校新記録

《男子バスケットボール部》

〈高校〉
 ・平成28年度東支大会(9/18)
 安芸高校 48 - 44 山田高校
 安芸高校 30 - 68 東工業高校
 〈中学〉
 ・安芸市芸西村夏季体育大会(5/14)
 県立安芸中学校 53-36 市立安芸中学校
 県立安芸中学校 68-40 清水ヶ丘中学校
 大会優勝
 ・中学校夏季大会(6/3, 4)
 県立安芸中学校 63-51 市立安芸中学校
 県立安芸中学校 52-53 室戸中学校
 県立安芸中学校 43-58 甲浦中学校
 大会3位

《女子バスケットボール部》

〈高校〉
 ・平成28年度高知県高等学校バスケットボール春季選手権大会(4/16, 17)
 1回戦 安芸高校 77-14 土佐高校
 2回戦 安芸高校 43-110 高知商業
 ・平成28年度高知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部(5/21・22)
 1回戦 安芸高校 76-45 高知農業
 2回戦 安芸高校 38-58 小津高校
 ・平成28年度高知県高等学校バスケットボール夏季選手権大会(9/3, 10)
 1回戦 安芸高校 対 山田高校 (143 - 8)
 2回戦 安芸高校 対 高知商業 (36 - 80)
 3回戦 安芸高校 対 高知商業 (69 - 41)
 ・平成28年度東支大会バスケットボール競技の部(9/18)
 決勝戦 安芸高校 対 高知農業 (89 - 32)
 ・平成28年度高知県高等学校バスケットボール秋季選手権大会(10/29, 30, 11/3)
 1回戦 安芸高校 対 伊野商業 (89 - 32)
 2回戦 安芸高校 対 須崎高校 (49 - 47)
 準々決勝 安芸高校 対 岡豊高校 (17 - 126)

《女子ソフトボール部》

〈高校〉
 ・平成28年度安芸地区中学校夏季体育大会(6/3, 4)
 リーク1 回戦 県立安芸 28 - 90 室戸
 リーク2 回戦 県立安芸 44 - 40 清水ヶ丘
 リーク3 回戦 県立安芸 37 - 60 吉良川
 リーク4 回戦 県立安芸 42 - 48 奈半利

《ソフトテニス部》

〈高校〉
 ・平成28年度東支大会バスケットボール競技の部(9/10)
 (男子団体) 第3位
 2回戦 安芸 1 - 2 高知農業
 (女子団体) 優勝
 1対戦 安芸 2 - 1 高知農業
 2対戦 安芸 2 - 1 山田
 (男子個人)
 第3位 東岡康平(5-2) 中川永智(5-3)
 (女子個人)
 第1位 有澤佑理(5-2) 由比桃香(4-2)
 第2位 中川智花(4-4) 小原穂花(5-4)
 ・高知県高等学校ソフトテニス秋季大会(9/17, 18)
 (男子団体)
 2回戦 安芸 2 - 1 高知南B
 3回戦 安芸 2 - 1 土佐C
 準々決勝 安芸 0 - 2 明徳A

《水泳》

〈高校〉
 ・平成28年度安芸市・芸西村夏季体育大会ソフトテニスの部(5/14)
 (個人男子)
 2位 森 哲平(3-2) 小原功己(3-2)
 ・平成28年度安芸地区中学校夏季体育大会ソフトテニスの部(6/3)
 (団体女子)
 2位 県立安芸中学校 0-3 清水ヶ丘中学校

《男子ソフトボール部》

〈高校〉
 ・第98回全国高等学校野球選手権大会
 1回戦(7/17) 安芸 5 - 0 丸の内
 2回戦(7/20) 安芸 5 - 0 高知西
 準々決勝(7/22) 安芸 0 - 7 高知商(7回コールド)
 ・第60回高知県高等学校選抜野球大会予備戦(8/6)
 安芸 24-1 桜ヶ丘 (5回コールド)
 〈中学〉
 ・高知県中学校野球選手権大会(8/12~)
 8/14 2回戦
 宿毛中学校 3 - 4 県立安芸中学校
 8/16 3回戦
 県立安芸中学校 0 - 17 城西中学校(5回コールド)

《女子ソフトボール部》

〈高校〉
 ・第61回秋季選手権大会(新人戦) 2回戦敗退(9/24)
 1回戦 安芸・山田・春野 7 - 4 小津(7回コールド)

《サッカー部》

2回戦 安芸・山田・春野 2 - 12 佐川(5回コールド負け)
 ・高知県高等学校体育大会
 1回戦 安芸 3 - 0 桜ヶ丘
 2回戦 安芸 0 - 4 土佐

《男子バスケットボール部》

〈高校〉
 ・平成28年度東支大会(9/18)
 安芸高校 48 - 44 山田高校
 安芸高校 30 - 68 東工業高校
 〈中学〉
 ・安芸市芸西村夏季体育大会(5/14)
 県立安芸中学校 53-36 市立安芸中学校
 県立安芸中学校 68-40 清水ヶ丘中学校
 大会優勝
 ・中学校夏季大会(6/3, 4)
 県立安芸中学校 63-51 市立安芸中学校
 県立安芸中学校 52-53 室戸中学校
 県立安芸中学校 43-58 甲浦中学校
 大会3位

《女子バスケットボール部》

〈高校〉
 ・平成28年度高知県高等学校バスケットボール春季選手権大会(4/16, 17)
 1回戦 安芸高校 77-14 土佐高校
 2回戦 安芸高校 43-110 高知商業
 ・平成28年度高知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部(5/21・22)
 1回戦 安芸高校 76-45 高知農業
 2回戦 安芸高校 38-58 小津高校
 ・平成28年度高知県高等学校バスケットボール夏季選手権大会(9/3, 10)
 1回戦 安芸高校 対 山田高校 (143 - 8)
 2回戦 安芸高校 対 高知商業 (36 - 80)
 3回戦 安芸高校 対 高知商業 (69 - 41)
 ・平成28年度東支大会バスケットボール競技の部(9/18)
 決勝戦 安芸高校 対 高知農業 (89 - 32)
 ・平成28年度高知県高等学校バスケットボール秋季選手権大会(10/29, 30, 11/3)
 1回戦 安芸高校 対 伊野商業 (89 - 32)
 2回戦 安芸高校 対 須崎高校 (49 - 47)
 準々決勝 安芸高校 対 岡豊高校 (17 - 126)

《女子ソフトボール部》

〈高校〉
 ・平成28年度安芸地区中学校夏季体育大会(6/3, 4)
 リーク1 回戦 県立安芸 28 - 90 室戸
 リーク2 回戦 県立安芸 44 - 40 清水ヶ丘
 リーク3 回戦 県立安芸 37 - 60 吉良川
 リーク4 回戦 県立安芸 42 - 48 奈半利

《ソフトテニス部》

〈高校〉
 ・平成28年度東支大会バスケットボール競技の部(9/10)
 (男子団体) 第3位
 2回戦 安芸 1 - 2 高知農業
 (女子団体) 優勝
 1対戦 安芸 2 - 1 高知農業
 2対戦 安芸 2 - 1 山田
 (男子個人)
 第3位 東岡康平(5-2) 中川永智(5-3)
 (女子個人)
 第1位 有澤佑理(5-2) 由比桃香(4-2)
 第2位 中川智花(4-4) 小原穂花(5-4)
 ・高知県高等学校ソフトテニス秋季大会(9/17, 18)
 (男子団体)
 2回戦 安芸 2 - 1 高知南B
 3回戦 安芸 2 - 1 土佐C
 準々決勝 安芸 0 - 2 明徳A

《水泳》

〈高校〉
 ・平成28年度安芸市・芸西村夏季体育大会ソフトテニスの部(5/14)
 (個人男子)
 2位 森 哲平(3-2) 小原功己(3-2)
 ・平成28年度安芸地区中学校夏季体育大会ソフトテニスの部(6/3)
 (団体女子)
 2位 県立安芸中学校 0-3 清水ヶ丘中学校

《男子ソフトボール部》

〈高校〉
 ・第98回全国高等学校野球選手権大会
 1回戦(7/17) 安芸 5 - 0 丸の内
 2回戦(7/20) 安芸 5 - 0 高知西
 準々決勝(7/22) 安芸 0 - 7 高知商(7回コールド)
 ・第60回高知県高等学校選抜野球大会予備戦(8/6)
 安芸 24-1 桜ヶ丘 (5回コールド)
 〈中学〉
 ・高知県中学校野球選手権大会(8/12~)
 8/14 2回戦
 宿毛中学校 3 - 4 県立安芸中学校
 8/16 3回戦
 県立安芸中学校 0 - 17 城西中学校(5回コールド)

《女子ソフトボール部》

〈高校〉
 ・第61回秋季選手権大会(新人戦) 2回戦敗退(9/24)
 1回戦 安芸・山田・春野 7 - 4 小津(7回コールド)

《弓道部》

〈高校〉
 ・高知県高等学校東支大会(9/24)
 女子団体の部 第3位
 門田百香(5-4) 仙頭果歩(5-2)
 白石真侑子(5-4)
 〈中学〉
 ・第13回高知県中学校弓道春季選手権大会(4/29)
 女子団体の部 第3位
 伊藤 萌(3-1) 和田亜弓(3-2)
 工藤繁美(3-2)
 女子個人の部 第1位 伊藤 萌(3-1)
 ・安芸市・安芸市体育会第60回安芸市体育祭(8/28)
 個人戦 中学生の部
 第1位 伊藤 萌(3-1)

《少林寺拳法》

〈高校〉
 ・第69回高知県高等学校体育大会少林寺拳法の部(5/22)
 男子単独演武の部
 第2位 前田真吾(6-3)
 (平成28年度全国高等学校体育大会出場へ)

《ヨット》

〈高校〉
 ・平成28年度全国高等学校総合体育大会第57回高等学校ヨット選手権大会四国水域予選会(6/18, 19)
 男子FJ級 第6位
 瀬瀬侃和(5-3) 町田文一郎(5-1)

《吹奏楽部》

〈高校〉
 ・平成28年度高知県吹奏楽コンクール(7/30)
 高等学校B部門 金賞
 中学校B部門 銀賞
 ・平成28年度高知県吹奏楽コンクール(8/1)
 中学校B部門 銀賞

《書道部》

〈高校〉
 ・第51回高野山競書大会(8/8)
 総長賞 小松愛佳(6-2)
 総長賞 本田真穂(5-1)
 協賞 澤田朱里(6-1)
 特選 安岡沙理奈(5-4)
 特選 中村一成(4-2)
 特選 小原桃果(3-2)
 特選 川島楓彩(3-1)
 ・第17回高校生国際美術展(7/3)
 優秀賞 本田真穂(5-1)
 奨励賞 小松愛佳(6-2)
 ・第40回全国高等学校総合文化祭広島大会(8/30)
 澤田朱里(6-1)
 ・第11回全日本小学生・中学生ベスト100(11/7)
 全国ベスト100中学2年生の部
 春名真優(2-1)
 ・第45回全国高校書道展四国大会主催(8/7)
 学長賞 本田真穂(5-1)
 推薦賞 小松愛佳(6-2)
 ・第32回高宮杯日本武道館書道書道展覧会(8/28)
 高円宮賞 小松愛佳(6-2)
 日本PTA全国協議会賞 本田真穂(5-1)
 日本武道館賞 小原桃果(3-2)
 日本武道館賞 川島楓彩(3-1)
 ・第27回中岡辻山記念全国書展(10/29)
 高知教育長賞 小松愛佳(6-2)
 北川村教育長賞 安岡沙理奈(5-4)
 褒状 本田真穂(5-1)
 ・第38回高校書道展(11/20)
 奨励賞 本田真穂(5-1)
 (第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会書道部門出場決定)
 ・平成28年度JA共済全国小学生書道コンクール高知県大会(11/7)
 銀賞(柔幅の部) 小原桃果(3-2)
 銀賞(柔幅の部) 梶原未果(3-1)
 佳作(半紙の部) 川島楓彩(3-1)

《中学駅伝》

〈高校〉
 ・第56回安芸地区中学校男子駅伝競走大会高知駅伝安芸地区予選会(10/22)
 男子 県立安芸A 第1位
 ・第29回安芸地区中学校女子駅伝競走大会高知駅伝安芸地区予選会(10/22)
 女子 県立安芸A 第2位

《科学の甲子園》

〈高校〉
 ・高知県教育委員会主催第4回科学の甲子園ジュニア高知県大会(8/7)
 高知県教育賞
 ・国立研究開発法人科学技術振興機構主催第4回科学の甲子園ジュニア全国大会(12/2~4)
 高知県代表として出場
 秋山千愛(2-1) 山手希紗(2-1)
 吉川大翔(2-1) 竹崎海生(2-2)
 樋口大河(2-2) 弘瀬射真斗(2-2)

《美術部》

〈高校〉
 ・第40回全国高等学校総合文化祭(広島大会) 全国高等学校美術展出品(7,30~8,3)
 広島県立近代美術館 有澤ゆめ(6-2)
 ・第61回高知県高等学校美術展 立休部門 出品 佳作受賞 共同作品(11.15~11.20)
 高知市文化プラザ かるぼーと
 川田尚人(4-2) 田中佑樹(4-1)
 久保志保(4-1) 西岡衣梨亜(4-1)
 有澤ゆめ(6-1)
 ○毎日新聞コラム挿絵掲載
 中屋三葉美(6-2) H28.6.18 長野佐保(6-2) H28.6.25
 瀧浦咲穂(2-1) H28.7.23 佐々木真知(2-2) H28.7.30
 小川彩香(1-1) H28.8.20 石川希矢(1-1) H28.8.11
 安岡 謙(1-2) H28.7.2 有澤冬青(1-1) H28.7.9
 松澤杏汰(2-2) H28.7.16

《卓球部》

〈高校〉
 ・平成28年度高知県高等学校体育大会卓球の部(5/21, 22)
 森本明里(5-2) ベスト16
 森本明里(5-2) 黒岩里帆(5-2) 組ベスト16
 ・平成28年度四国高等学校総合体育大会卓球の部(6/18, 19)
 森本明里(5-2) ベスト16
 ・高知県高等学校体育連盟高知県高等学校夏季卓球大会(8/4)
 団体の部 第1位
 森本明里(5-2) 黒岩里帆(5-2)
 西窪季美(5-1) 山本彩加(4-1)
 女子ダブルス 第1位
 森本明里(5-2) 黒岩里帆(5-2)
 女子シングルス 第3位 森本明里(5-2)
 ・高知県高等学校体育連盟高知県高等学校冬季卓球大会(11/6)
 団体の部 第3位 四国大会出場
 森本明里(5-2) 黒岩里帆(5-2)
 西窪季美(5-1) 山本彩加(4-1)
 〈中学〉
 ・平成28年度安芸市・芸西村夏季体育大会(5/14)
 卓球女子個人 第1位 秋山千愛(2-1)
 ・平成28年度安芸地区中学校夏季体育大会(6/4)
 卓球女子個人 第1位 秋山千愛(2-1)

《剣道部》

〈高校〉
 ・平成28年度高知県高等学校剣道春季大会(4/16)
 個人戦
 岡村翔鴻(6-3) 4回戦敗退 ベスト16